

岐阜県型・教職魅力化に向けた取組方針

1. 趣旨

本県が進めてきた教育施策を更に前進させるとともに、本県における教師不足解消に向けて、教職の魅力化を図るため、岐阜県教育委員会と県内の教員養成課程（小、中、高、特支）を有する大学、市町村教育長、校長とが大同団結し、一堂に会して議論を行った。

今後、各主体が、役割分担しながら、以下の具体的取組について、可能なものから速やかに実行するとともに、取組の具体化等の協議を継続し、本県の教師育成に結束して取り組む。

令和4年11月15日

岐阜県教育委員会
岐阜大学、朝日大学、岐阜協立大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、中部学院大学、東海学院大学
岐阜県都市教育長会、岐阜県町村教育長会
岐阜県小中学校長会、岐阜県高等学校長協会、岐阜県特別支援学校長会

2. 取組のコンセプト

養成・採用・採用後の一体的な教職環境の改善を目指す
岐阜県型・教職魅力化モデル

3. 主な具体的取組

☆は県教育委員会（教育事務所含む）、■は大学、
△は市町村教育委員会、●は学校の取組

（※予算化等が必要な事項は、今後の協議を経て決定・実施）

養成段階

■大学における教育課程の改善

- ・理論（原理）と実践をつなぐ学びの強化
- ・教員として学び続けるための「学び方」の獲得
- ・高校時代の未習事項の補充
- ・教育実習中のフォローアップ体制の強化
- ・大学による学校現場実習の促進
- ・学びと教職勤務の両立支援

（例）2種免保有者の講師登録拡大や教員資格認定試験受験促進

☆ぎふ清流教師塾の改善

- ・時期や対象者に応じた在り方の再検討
- ・大学の垣根を超えた学生の交流の促進

☆採用前研修の実施の検討

☆■教職講話の実施

- ・大学と連携し、県教委職員による大学1、2年生に対する「教師の一日」等の講話を実施

☆■学生意識調査の実施と県民への発信

- ・大学4年生を対象とした意識調査の実施

■コンソーシアム等による複数免許取得促進

■社会人コースの設置促進

採用段階

☆教員採用試験の改善

- ・特別免許状の活用
- ・試験内容の見直し
（例）試験日程の組替、面接時間の拡充、面接内容や雰囲気の改善
- ・若手社会人の採用促進
- ・加点制度の在り方の継続的検討

☆教員採用説明会の刷新

☆任期付教員採用の改善

- ・任用数の拡充
- ・採用段階の大学推薦制度の導入
- ・実施日程の前倒し

☆常勤講師を志望しやすい環境整備

- ・内定連絡の早期化
- ・登録手続きの簡素化

☆教職経験のない免許保有者への説明会開催

☆新採教員への奨学金返還補助制度の創設

採用後段階

☆△●若手教員が授業に集中できる環境整備

（例）副担の配置、計画的育成的な校務分掌配置

☆人事異動の改善

- ・若手の計画配置（小中両校異動）の弾力化
- ・広域異動の見直し－若手の遠隔地異動の抑制と市町を越えた異動（自宅通勤可能な範囲に限定）や中堅、新任教頭の広域異動の活性化
- ・交流人事の活性化－中・高間、小中・特支間、小中一貫校派遣 等

☆安心して産育休が取れる体制の整備

- ・育休産休等代替教員の年度当初配置と継続配置、代替となる非常勤講師の充実

☆常勤講師へのサポート強化

- ・採用試験合格常勤講師の現任校配置の制限緩和
- ・新任常勤講師研修の充実と後補充教員の配置

☆△●ベテラン教員の活躍の支援（再任用の促進）

- ・働き方の弾力化－市町を越えた任用、担任以外の選択肢の提示（専科、副担、初任者指導、特支、部活動、校務等）
- ・インセンティブ－「シニア担任手当」（仮）の創設
- ・初任者指導教員への意識付け（研修）

☆行政機関から学校への人員シフト

これらの基盤となる取組

☆△●働き方改革の加速

- ・教師業務支援員、部活動指導員など教師を支える人材の増員

☆県単独教員定数の増員

☆■△●教職の魅力のPR

- ・岐阜県や岐阜県教育のよさ等本県の教育の先進性の積極的アピール

☆△●教職員との積極的対話

☆△●教職員の日々の生き生きとした指導の実現